

# 高温により収穫期が早まります

令和2年8月31日  
那須農業振興事務所

- 出穂後、高温が続いています。
- 平年に比べ、出穂から収穫までの期間が短くなることが予想されます。

## 1 予想収穫日

収穫日を予想する方法の一つとして、出穂後の日平均気温を足し続け、一定の値になった時点を収穫日とします。那須管内では、刈り遅れを防ぐため、940～1040℃<sup>\*</sup>を推奨しています。（<sup>\*</sup>平坦地のみ。冷涼地は 1,000～1,100℃）

8月は高温で推移しており、さらに今後も高温で推移した場合、平年に比べ上記の温度に到達する日が早くなり、収穫日が早まる可能性があるため、注意してください。

以下に8/1出穂の例を示しました。

管内地域	出穂日	予想収穫日 (出穂後の日数)
南部 (大田原)	8/1	<b>9/6～9/10</b> (36日後～40日後)
北部 (黒磯)	8/1	<b>9/8～9/12</b> (38日後～42日後)

〔参考：平年の場合〕

管内地域	出穂日	予想収穫日 (出穂後の日数)
南部 (大田原)	8/1	9/8～9/12 (38日後～42日後)
北部 (黒磯)	8/1	9/10～9/14 (40日後～44日後)

○ 収穫適期判断

収穫期の判断の基本は、「帯緑色籾率の確認」です。

那須管内で推奨している適期の帯緑色籾率は15～5%です。

帯緑色籾率とは、穂の中でわずかでも青みが残っている籾の割合（%）のことです（下図）。成熟するにつれて、割合は下がっていきます。

ただし、15～5%は平坦地での目安となります。

冷涼地では10～3%を目安にしてください。

